

大分県知的財産総合戦略の 改定について

令和6年11月18日

大分県 商工観光労働部 新産業振興室

第二期大分県知的財産総合戦略

- 「大分県知的財産総合戦略」は、本県知的財産の施策指針を示すものとして平成31年に策定。
5年間の戦略期間の最終年度である令和5年度に戦略を改定し、「第2期大分県知的財産総合戦略」を策定。
- 改定後の戦略は、大分県長期総合計画をベースに安心・元気・未来創造を基本方針の柱として取組を推進。
- 基本的な取組方針は「国内外における知的財産の適切な活用の促進」。取組成果の検証のため、成果指標も策定。

第一期大分県知的財産総合戦略

目標：①知財支援機関相談件数

H29年度 1,024件 → R5年度 1,238件

②中小企業数に対する特許及び商標の出願中小企業数の割合
「全国順位10ランクアップ」

特許 H29 33位 → R5 23位

商標 H29 30位 → R5 20位

期間：平成31年度～令和5年度（5年間）

安心・活力・発展を推進する知財戦略

■ 知的財産に関する相談機能の充実 ■ 知的財産を創造する研究開発支援

①安心を守る知財戦略

■ 権利侵害に対する対策 ■ 知的財産の権利化に関する支援

②活力を生む知財戦略

■ 地域振興のための地域ブランドの構築 ■ 開放特許等の活用促進 ■ 海外展開における知財活用の推進

③発展を促す知財戦略

■ 子ども、若者の知財教育・創作環境整備の推進 ■ 社会人の知財学習



第二期大分県知的財産総合戦略

目標：①知財支援機関相談件数

R4年度 1,415件 → R10年度 1,698件

②特許又は商標を出願した県内中小企業数（累計）

特許 R4 263社(累計) → R10 270社(累計)

商標 R4 855社(累計) → R10 875社(累計)

期間：令和6年度～令和10年度（5年間）

安心・元気・未来創造を推進する知財戦略

■ 知的財産に関する相談機能の充実 ■ 知的財産を創造する研究開発支援

①安心を守る知財戦略

■ 権利侵害に対する対策 ■ 知的財産の権利化に関する支援

②元気を生む知財戦略

■ 地域振興のための地域ブランドの構築 ■ 海外展開における知財活用の推進

③未来創造を促す知財戦略

■ 子ども、若者の知財教育・創作環境整備の推進 ■ 社会人の知財学習

大分県知的財産総合戦略改定の概要

第1章 知的財産を取り巻く環境

知的財産立国実現に向けた国の動き

○知的財産基本法（H14.12策定）

地方公共団体の責務：知的財産の創造、保護、活用に関し、地域の特性を活かした自主的な施策を策定し、実施する責務
→大分県知的財産活性化指針の策定（H18.2）



策定から12年が経過

◆第4次産業革命と呼ばれる社会環境の変化

◆国内市場の縮小に伴う経済のグローバル化の進展

→企業の事業戦略としてのオープン＆クローズ戦略の活用



新たな知的財産戦略の策定

第2章 大分県の知的財産を巡る現状と課題

1.大分の産業別特色

農林水産業、製造業、商業・物産・サービス産業、観光産業

2.ブランド力向上の取組事例

大分県の可能性を広げ、ブランド力向上に寄与している産品等を紹介

3.県内の出願・登録状況

・特許出願112件（全国44位）、商標出願532件（全国31位）

→全国的に低い水準

・中小企業数割合：特許0.14%（全国31位）、商標0.51%（全国23位）

4.企業調査からみえた課題

アンケート調査：県内に事業所を置く企業等94件回答

第3章 知的財産の取組方針

1.基本的な方針…大分県長期総合計画をベース

安心元気・未来創造を推進する創造戦略

（1）安心を守る知財戦略

（2）元気を生む知財戦略

（3）未来創造を促す知財戦略

2.戦略に係る目標

●基本的な取組方針

「国内外における知的財産の適切な活用の促進」

●総合目標

①知財支援機関による相談件数

R4年度 1,415件 → R10 1,698件

②特許又は商標を出願した県内中小企業数（累計）

R4年度比でR10に5年間の企業数（累計）で増を目指す

特許 R4 263社（累計）→ R10 270社（累計）+7社

商標 R4 855社（累計）→ R10 875社（累計）+20社

3.戦略に係る期間 令和6年度から5年間

第4章 解決に向けた知財戦略

大項目	小項目	具体的施策
安心元気・未来創造を推進する創造戦略 【知的財産の創造】	知的財産に関する相談機能の充実	・地理的表示（GI）保護、営業秘密・ノウハウ等幅広い相談対応 ・大分県よろず支援拠点や弁理士会等と連携した相談対応
	知的財産を創造する研究開発支援	・先端技術を活用した新産業創出や地域課題解決を図るため産学連携の先進的プロジェクトを支援 ・おおいたスタートアップセンターを拠点に支援機関等と連携した創業者の成長志向に応じた支援
	権利侵害に対する対策	・DNAマーカーによる識別技術確立や品種保護対策官との連携による侵害対応 ・ジェトロ等と連携した模倣品調査の実施
1.安心を守る知財戦略 【知的財産の保護】	知的財産の権利化に対する支援	・外国出願にかかる費用の助成 ・優秀な特許等を出願した中小企業等を顕彰するコンテストの開催
	地域振興のための地域ブランドの構築	・おおいた和牛やベリーのPR強化と取扱店の拡大 ・流通・販売体制構築による「The・おおいた」ブランドの確立 ・かぼすブリ、かぼすフグ等かぼす養殖魚の周年出荷体制の構築 ・おんせん県おおいたロゴを活用した観光プロモーション等の促進 ・日本GAP協会公認研修機関が実施するGAP基礎研修の開催 ・普及指導員や営農指導員を中心としたJGAP指導員の確保・育成
	海外展開における知財活用の推進	・県産ブランドとして輸出する商標登録や地理的表示（GI）保護制度の推進 ・県内事業者の海外での商談会等への出展を支援
2.元気を生む知財戦略 【知的財産の活用】	子ども、若者の知財教育創作環境整備の推進	・高校生等への知財に関する出前授業の開催 ・O-Laboにおける科学体験講座の実施 ・少年少女発明クラブの設立及び活動の支援
	社会人の知財学習	・オープン＆クローズ戦略等最新のトレンドを取り込んだ企業経営セミナーや、若手事業者向けセミナーの開催 ・企業経営者等を対象とした知財塾の開催
3.未来創造を促す知財戦略 【教育、人材育成】		

第5章 フォローアップ体制

外部有識者による「大分県知財戦略推進会議」や庁内の関係機関等で構成される組織を設置し、進捗管理等を実施

大分県知的財産総合戦略ロードマップ

第2期大分県知的財産総合戦略

3. 知財経営の実践・定着

知財部門の設置と知財連携強化

- ・県内企業と大企業の開放特許を活用した業務提携支援
- ・IPランドスケープ事業採択支援・知的財産管理技能士取得支援等

2. 知財の活用（取得・活用）

誰もが知財を取得・活用可能な環境の構築

- ・県内企業が24時間いつでも誰でも知財に関する情報を収集できるオープンプラットフォームの構築
- ・知財取得のノウハウセミナーや、県内企業による事例紹介・知財取得に係る費用の助成等

1. 知財への気づき（認知）

普及啓発活動の拡大と知財人材育成

- ・業種別にそれぞれのレベルに合わせたセミナーや活用事例等の周知
- ・知財CDを派遣し、自社の知財の洗い出しの実施
- ・知財人材育成に係る費用の助成等

長期ビジョン

県内企業が自社の知財戦略を活用した先進事例創出

- ・事業戦略との連携
- ・研究開発戦略との連携
- ・事業戦略・研究開発戦略と連携した知的財産戦略の構築

県内中小企業の知的財産権出願及び登録件数の増加

- ・知財ミックスでの出願・登録
- ・研究開発型企業の創出
- ・リスキング等の技術支援による、既存製品からの新技術、新製品の掘り起こし
- ・産学官連携の共同研究

第1フェーズ

第2フェーズ

第3フェーズ

2024年度

2025

2027

2028

大分県の知的財産の現状（支援推進体制）

知的財産事業の実施体制

